

千葉市地域文化財「寒川神社の御浜下り」関連資料調査の実施について

「寒川神社の御浜下り」関連資料について、千葉市地域文化財の候補として、資料調査を行います。

1 大舟の飾り幕

所在地 千葉市立郷土博物館（寄託）
所有者 寒川神社
（千葉市中央区寒川町1丁目123番地）
製作年代 嘉永3年（1850）
員数 1枚
寸法 幅78cm、長さ15.4m
材質 表地は緋羅紗、裏地は木綿

千葉市地域文化財「寒川神社の御浜下り」の由来となる「千葉妙見の祭礼」の中で用いられた舟形の山車「結城舟（寒川舟）」に飾り付けられたとされる幕である。中央部で2枚を縫い合わせており、左右で異なる図案が描かれ、幕端には「寒川村氏子中」の文字が記されている。裏地には飾り幕を新調するに至った経緯と、それに携わった寒川村の村方三役の姓名や由来が墨書きされている。



幕中央部 九曜紋（左）と月星紋（右）が配されている



復元 月星紋・九曜紋のほか、虎、竹、岩に
砕ける波の文様が施されている



「下総国千葉郷妙見寺大縁起絵巻」（歓喜寺
（福島県）蔵 寛文2年（1662）非公開）
に描かれた「結城舟（寒川舟）」